

研究テーマ

学校とPTAが一緒につくる 「本物の学力」をめざした学習環境づくり

PTA名称 山口市立白石小学校PTA

所在地 山口市白石一丁目10番1号



学校組織の概要・組織

本校の校区は旧市内の中心にあり、県政・市政の中核的機関や官公署が多く、また山口高校・中村女子高校・附属小中学校・白石中学校及び白石地区地域交流センター・市民会館・県立、市立図書館・美術館・博物館・歴史・文化関連施設・情報センターなどの文教施設が集中している。また、国道旧9号線が校区の中央を南北に走って、その東側が主として商店街、西側が主として学校・官公署・住宅地となっている。本校の校区は名実ともに古都山口市の中心地である。

PTA活動も盛んであり、執行部を中心に主体的な取組が多いことや、ボランティア組織が充実していることも特色の一つである。令和2年度は永年にわたるPTA活動を評価していただき優良PTA文部科学大臣表彰を受けている。

研究テーマについて

2年前より、通常のPTA活動と共にPTAボランティアと学校が連携しての「学習環境づくり」（白石まるごと学びレッジプロジェクト）に取り組んでいる。具体的には校舎内や校舎周辺に子どもたちの身の回りに表示板をつくって、高さや長さ、体積などの現場表示をしたり、地域の広さ比べを航空写真上で掲示したりする取組である。

上記のような学習環境づくりをすることによって、机上の学習に身近感・実感・俯瞰をそえることによって、さらに心が動く学びになるのではないかと、より「本物の学力」に結びつくのではないかと考え、「学校とPTAがつくる『本物の学力』をめざした学習環境づくり」を設定した。

成果と課題

○学習環境づくり「表示板」については、高さや距離、角度、重さや体積、など約60種類の現場表示板を作成・表示することができた。実際に「この電柱高さ8m」という表示を子どもが覚えており、TV番組で10mのシャチがジャンプしという映像を家族で視聴の際、「学校のあの電柱より2m大きい大きいなんてすごいね!」という会話が親子であり、大きさのイメージができてきているといううれしい報告が保護者よりあった。

○また、校区航空写真マップも広さ比べや高さ比べ、校区にある道や川マップなど10種類程度、作成・掲示した。そのマップをみて卒業した中学生から、校区の地図が頭に入って役立ったことや広さや体積などの単位換算で実際の現場が浮かんで、迷わなかったことなどの報告があり、今回の学習環境づくりの手応えを感じている。

○反省点・改善点として、この取組の周知が足りないのではないかと指摘をうけ、学びレッジ通信を発行したり(年3回)、学校HP上に載せたりすることで、周知も進んできている。取組自体の評価は高いが、ボランティア組織であるので、活動を継続していくことも課題の一つである。

活動内容

- 1 学校で学習する距離や高さ、広さ、体積、重さなどの実数値の現場表示板の作成と設置をした。
 - 2 上記の距離や高さ、広さなどの学習内容や地域情報を地域航空写真上にイラスト表示し、玄関ホールに設置した。(月ごとにテーマを変える)
 - 3 運動場に100mものさし、幅跳びコーナーやジャンプコーナー、遠投コーナーなどを常設し、長さなどの実感をもたせながら、がんばりの数値化を図り、体力づくりや休日の親子参加の遊具とする。
- ※ 今年度は上記の取組に併せて、コロナ下でもあり、お家の人と一緒に学習することのできるコンテンツづくり(学校HPで紹介)や地域に目を向けた学びコンテンツづくりも活動に加えた。

○子どもたちの学びに ①身近感を添える。 ②実感を添える。 ③俯瞰を添える。

上記3点を目的として、学校周辺への表示(板)や航空写真マップ、トレーニングコーナーの作成を活動の中心とした。

○白石小学校PTAにボランティアを募り、プロジェクトチームを立ち上げる。プロジェクトチームと学校長、白石小学校教職員研修部が中心となって、企画、作成作業にあたる。

※ PTAボランティア40名 (内モニター15名)

○毎月第2第4火曜日10:00~12:00を活動日とする。

活動紹介



表示板例

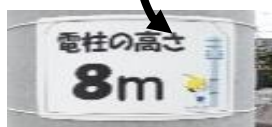


表示板作成・話し合いの様子



現場表示例

8 m の電柱



設置作業



校区航空写真 (1 km マップ)



マップを見る子ども



運動場にコーナー設置 (例1)



コーナー設置 (例2)